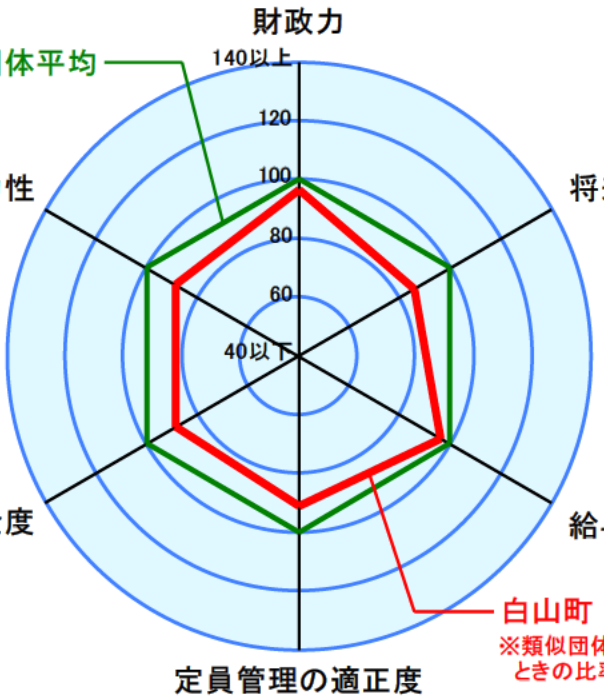


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

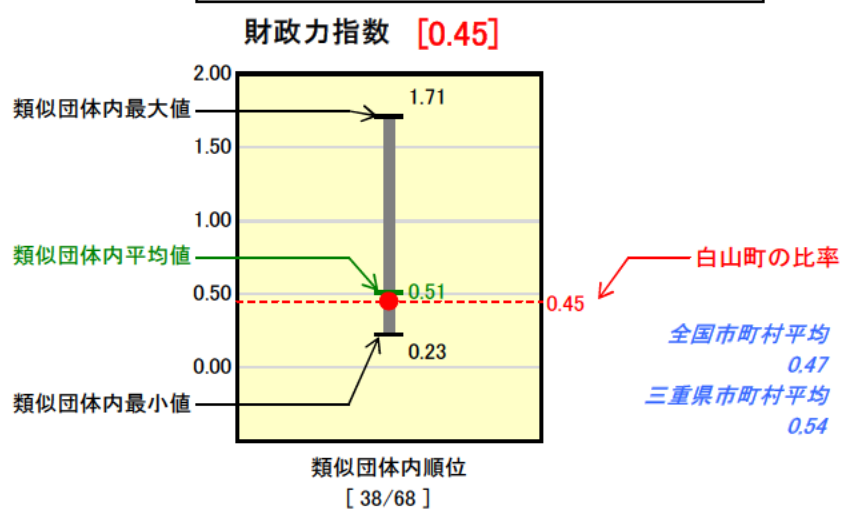
三重県 白山町

人口	13,304人(H17.3.31現在)
面積	111.86 km ²
歳入総額	7,012,774千円
歳出総額	6,819,802千円
実質収支	141,088千円

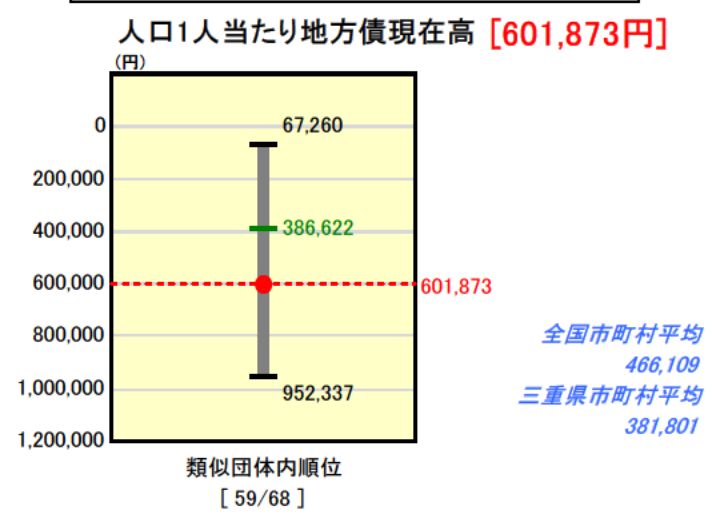


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

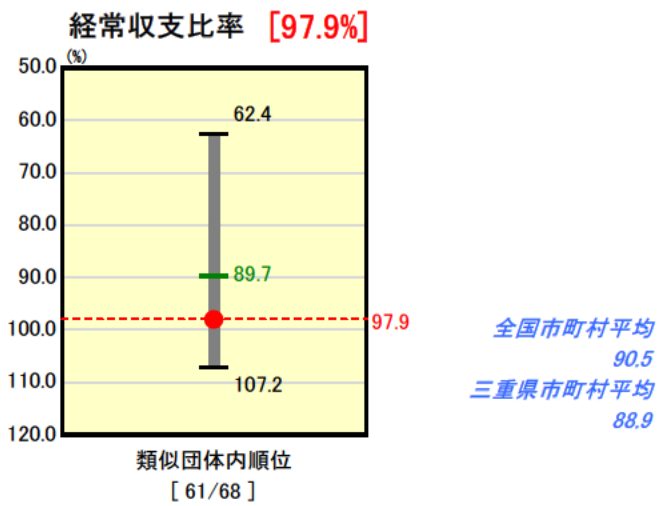
財政力



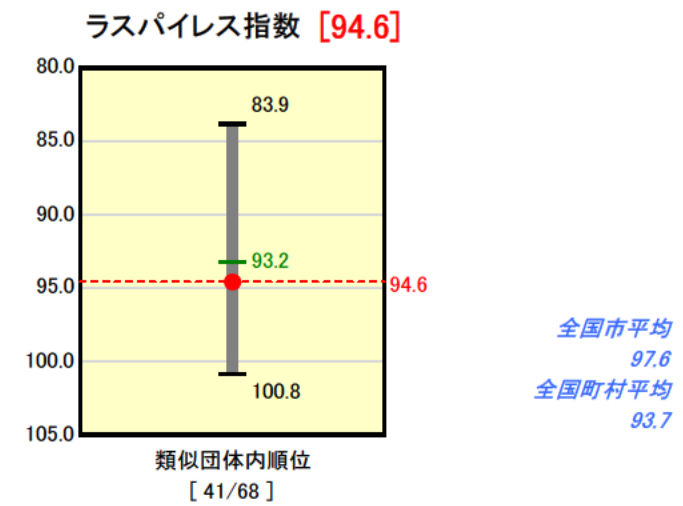
将来負担の健全度



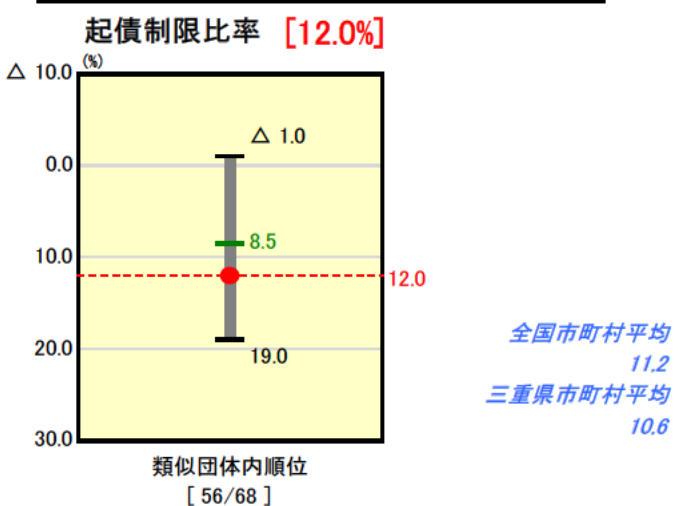
財政構造の弾力性



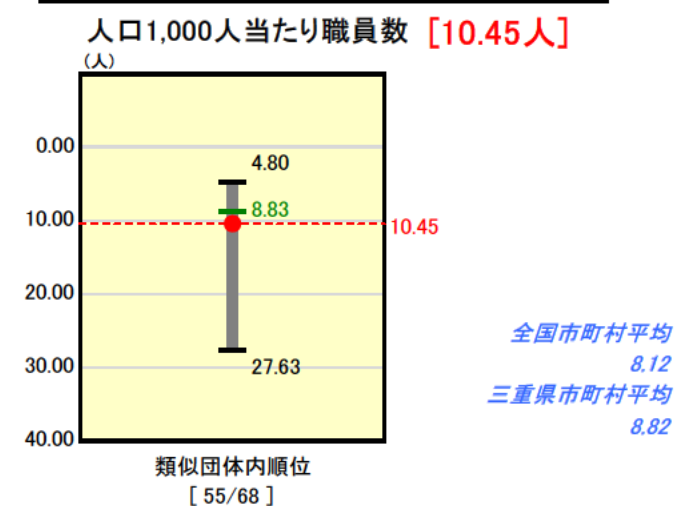
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

財政力指数
14年度から3年連続して上昇傾向にあるが、歳入の基幹となる税収が類似団体平均を下回ることから、0.45となっており地場産業の育成等税収の確保に努める必要がある。

経常収支比率
類似団体平均を大幅に上回っており、今後も公債費や扶助費の増加により高水準で推移することが予想され、行政改革を推進し、義務的経費の削減に努める必要がある。

起債制限比率
類似団体平均を上回っており、今後は緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により起債に大きく頼ることのない財政運営に努める必要がある。

人口1人当たりの地方債現在高
現在のところ類似団体平均を大幅に上回っており、新規発行債の抑制を行い、財政の健全化に努める必要がある。

ラスパイレス指数
旧来からの給与体系により類似団体平均を上回っている。現行の給与構造は年功序列的な要素が強いことから、今後は適切な人事評価の確立、職務・職責に応じた給与構造への転換を図り、適正化に努める必要がある。

人口1,000人当たりの職員数
類似団体の平均を上回っている。
平成18年1月の市町村合併を契機に今後10年間で600人の人員を削減する等、より適正な定員管理に努める。